

記事を読んで、問いに答えなさい。

2020年11月22日朝刊

英龍「広める会」活動説明

三島来春発足 入会呼び掛け

江戸末期の葦山代官江川英龍（1801〜55年）の功績発信などを目的とした「江川英龍公を広める会」の設立説明会が21日、三島市の三島商工会議所で開かれた。約50人が参加し、活動内容などの説明を受けた。

同会は有志が中心となり、英龍の偉業を紹介する活動のほか、ウェブや動画配信を通じた広報などに取り組む。来年3月に発会式を予定している。

英龍は江川家36代当主。世界遺産・葦山反

すでに入会希望者は100人を超えているという。発起人の1人



活動内容の紹介などを行った設立説明会
＝三島市の三島商工会議所

で江川文庫主席学芸員の橋本敬之さん（68）は「皆さんの力を借りて伊豆の文化を広げたい」と入会を呼び掛けた。

射炉の築造や品川沖の台場建設などを実現した。説明会に出席した42代当主の江川洋氏は「英龍の功績を多くの人に伝えるきっかけを作ることができれば」と期待した。

①江戸末期の葦山代官江川英龍が築造に関わり、2015年に世界遺産に登録された現在の伊豆の国市に跡があるものとは何か。文中から抜き出さなさい。

()

②江川英龍の功績は、前問①の築造以外にも現在まで伝えられていることがある。どのような功績があるのか。具体例を二つ、手元の iPad など調べて説明しなさい。

()
()

③江川英龍から砲術を学び、門下に勝海舟や吉田松陰がいた江戸時代の蘭学者とは誰か。

()

④江川英龍は、品川沖に台場を建設することに関わったが、なぜ台場を建設したのか。簡単に説明しなさい。

[]

年 組 名前

解答例

2020年11月22日朝刊

記事を読んで、問いに答えなさい。

英龍「広める会」活動説明 三島来春発足 入会呼び掛け

江戸末期の葦山代官江川英龍（1801〜55年）の功績発信などを目的とした「江川英龍公を広める会」の設立説明会が21日、三島市の三島商工会議所で開かれた。約50人が参加し、活動内容などの説明を受けた。

同会は有志が中心となり、英龍の偉業を紹介する活動のほか、ウェブや動画配信を通じた広報などに取り組む。来年3月に発会式を予定している。

すでに入会希望者は100人を超えているという。発起人の1人

江川文庫主席学芸員の橋本敬之さん（68）は「皆さんの力を借りて伊豆の文化を広げたい」と入会を呼び掛けた。

英龍は江川家36代当主。世界遺産・葦山反射炉の築造や品川沖の台場建設などを実現した。説明会に出席した42代当主の江川洋氏は「英龍の功績を多くの人に伝えるきっかけを作ることができれば」と期待した。



活動内容の紹介などを行った設立説明会
＝三島市の三島商工会議所

①江戸末期の葦山代官江川英龍が築造に関わり、2015年に世界遺産に登録された現在の伊豆の国市に跡があるものとは何か。文中から抜き出さなさい。

(**葦山反射炉**)

②江川英龍の功績は、前問①の築造以外にも現在まで伝えられていることがある。どのような功績があるのか。具体例を二つ、手元の iPad など調べて説明しなさい。

(**日本初の洋式帆船「ヘダ号」の建造を指揮したこと。**
「パン祖」と語り継がれるような、兵糧のパン製造に取り組んだこと。)

③江川英龍から砲術を学び、門下に勝海舟や吉田松陰がいた江戸時代の蘭学者とは誰か。

(**佐久間象山**)

④江川英龍は、品川沖に台場を建設することに関わったが、なぜ台場を建設したのか。簡単に説明しなさい。

(例) 1853年にペリーがアメリカから来航してきたことで、江戸湾の防備を強化することに迫られたため。

年 組 名前